

平成28年10月7日

株式会社シーエス・ワンテン

株式会社バイアコム・ネットワークス・ジャパン

番組審議会議事録

1. 日時 平成28年10月6日（木） 11時00分～
2. 場所 東京都港区区虎ノ門 4丁目
バイアコム・ネットワークス・ジャパン(株) A会議室
- 3 出席者 審議委員総数 8名
出席審議委員数 7名

（出席委員名）

- 委員長 片岡 朋行（ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所 弁護士）
委員 野村 達矢（一般社団法人 日本音楽制作者連盟 理事）
委員 竹村 謙二郎（株式会社 oricon ME コンフィデンス編集部 主任）
委員 芳賀 康浩（青山学院大学 経営学部 マーケティング科 教授）
委員 松居 秀之（株式会社ピクス 常務取締役）
委員 松尾 健司（株式会社 J-WAVE 編成局次長 兼 編成部長）
委員 丸山 信人（株式会社インプレスホールディングス 執行役員 CP0）

（衛星基幹放送事業者：シーエス・ワンテン）

福田 泉（代表取締役社長）
渡辺 慎一（業務推進本部 業務推進本部長）

（番組供給事業者：バイアコム・ネットワークス・ジャパン）

井股 進（代表取締役社長）
草間 茂雄（クリエイティブ&コンテンツ部 部長）
萬 隆紀（放送メディア事業本部 シニアマネージャー）
岡田 純明（クリエイティブ&コンテンツ部 シニアマネージャー）

議 題

（1） 課題番組について

「Lip Sync Battle シーズン1 ダイジェスト～見どころ一挙紹介～」

議事内容

(1) 課題番組について

全米で大人気のロパクバトル番組「Lip Sync Battle」のMTVでの放送開始にあたり、番組を120%楽しむための特別番組を制作。全18話の中から話題となったバトルやパフォーマンスを紹介。タレントをゲストに迎え、番組の見どころや、対戦相手の”妙”など、知っているにより番組が楽しめる情報を紹介。

(委員からの意見・質問と MTV の回答)

-課題番組で紹介している「Lip Sync Battle」についての意見

*物まねや振り付けなどにも著作権があり、行使というよりは、振付師など創作者の保護目的の権利処理をする事例がある。

ミュージックビデオをなぞるような演出がみられたのだが、その辺の権利処理はされているのか。また過剰なパロディなどでは名誉棄損にあたる可能性もある。

(回答)

「Lip Sync Battle」放送に際し、海外から各出演者/エピソードごとに映像や肖像使用の権利を明記したリストが送られてきていたので、他の海外番組と比較しても細かく権利処理をしている印象を受けている。今後日本版などを制作することがあれば、留意したい。

*格闘家など、出演者の人選が面白く、意外な姿も見られたので楽しく視聴できた。

*単なる物まねとは違う、ロパクをバラエティ番組として成立させたことは発明。

*ぜひ日本版を制作してみてもどうか

-課題番組についての意見

*アーティストだけでなく、スポーツ選手などあらゆるカルチャーに関わる人たちが出演しているので元ネタ、その当時の社会性などをもっと紹介する要素があるほうが良かった。

*芸人をつかってバラエティぼくしているのは良かった。

*MTVならではのもっとマニアックな方にマニアックな解説をさせても良かったのではないかな。

*この番組を観ずに対象番組（「Lip Sync Battle」）を観たときに、どこまで番組の趣旨を理解できただろうか。

*取り上げた楽曲や、元ネタのミュージックビデオはどのようなものだったのか詳しく知りたいと思った。

*対象番組内のパフォーマンス時に楽曲タイトルが出ないことが気になった。音楽チャンネルの音楽番組として、楽曲タイトルは出したほうが良いのではないかな。

*番組の前後に出演者の紹介などを含む短尺の受け振り番組のようなものがあっても良いのではないかな。

(回答)

対象番組内にテロップなどで出演者の情報などを補足で入れ込むことも検討したが、可能な限りシンプルにしようという判断の結果、別で番組を制作することを決定した経緯があった。

*見どころ一挙紹介というタイトルのわりに、個別のエピソードが詳しく紹介されていない。

*放送倫理に触れるようなところはない。

*番宣番組ということだが、番組の宣伝になっているか疑問を覚えた。

*海外で話題になっているというトピックや状況をどのように可視化するかが重要。

*番組内に放送時間の詳細が無かったが、もう少し詳しく伝えたほうが良かったのではないか？

(回答)

MTVで放送後、番組周知のため全編を弊社の番組紹介サイトにアップし、いつでも見られるようにして展開した。そのためオンエア日時などを明記しなかった。MTVでのオンエア用は詳細を入れ、他メディアで使用するものと素材を分けるなどの取り組みも今後は考慮したい。

*セットが白ホリで音が響き過ぎているので、できればもうすこし暖色系の色を加えると良かった。

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成28年10月6日以降、編成担当及び番組製作者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

平成28年10月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上